コロナ禍での市政運営

Ŕ 教育

メッセージを子ど ない元気になれる 取り組みは。 が前向きになれる 教職員、

いて、子どもたち 紹介し、 コロナに負け コロナ禍にお 地域から募 保護 で学び、 のル 時間の使い方、

考えるというもの

Ą

である。

「親学講座」の様子

営指針(案)の基 行財政改革 行財政改革運

政運営」

「職員の 「行政

ゲ

本的方向性は。

「健全な行財

親学講座

在、新たな実証実彫りになった。現

実験で課題が浮き

題克服の取り組み

昨年度の実証

を明らかにし、

課

地域づくりサポ

トセンタ

意識改革」

3つを軸に進めて 資源の最適化」の

座」とは。

睡眠・学習時

ト依存の

「親学講 ム・ネッ

ても、

みらい戦略

のあった取り組み

デジタル化につい 験を予定している。

る。

今後は、

成果

われたものと考え が成果としてあら を進めてきたこと

間不足、

ネット

じめ等、



未来 髙橋寿治

い前向きになれる

行政改革

られるが、その

察と今後の取り組

人工知能や自

みは。

令和倶楽部

金田稔久

機会や、 い く。 る機会をつくって さや魅力を再発見 史・文化クイズに する楽しさを感じ 津山の良 津山の歴

どうなっているのか。

る児童生徒の課題

各学校におけ

向けた進捗状況は 動化技術の導入に

起こる問題を親子 スマホ利用 ルを親子で 帰宅後の 依存から 行政事務の効率化は進んでいるのか い く 。

学力の向上が感じ 学習調査によれば 岡山県学力・

令和倶楽部 田口浩二 【その他の質問

◆議案第62号から について 65号の指定管理

学習調査

計画に位置付けて を図りながら実行 プロジェクトチー ム (※) との整合 もに、 を各学校でさらに



的に進めていく。 用した授業も積極 徹底して行うとと ーCTを活

地域づくりサポートセンターなぜ廃止?

事業を。

らず、 化につながってお 組織に限定的であ 市が直営で関わる 委ねる事業規模で り、十分な機能強 はないと判断 利用者が既存

多岐にわたる支援

利用促進など

策を検討してい

き



なぜ廃止と判断? 写真は地域づくりサポートセンター)

判断したのか。 センターの廃止 ている中、なぜ地 づくりがコロナで 域づくりサポ り充実が求められ 生させるため、 停滞した地域を再 町内会・

を

公共交通対策

þ 用者減となってお 道・バスは大幅利 総合的な支援 コロナ禍で鉄

いる。

ニーズ把握は

今後必要と考えて

べき。 ニーズ調査を行う 確保に苦慮されて により特に医療従 いる。夜間保育の 事者の夜間勤務者 働き方改革等

医療従事者の現状

早期にバリアフリー化を

市政会

岡田康弘

DXの活用とそのための環境整備を

令和4年度の完了 早期整備は必要。 住民サービスの向 政コストを縮減し 据え、DX(デジタ めの環境整備を。 要である。そのた 上を図ることが重 の活用により、行 メーション)(※) ルトランスフォ フォーメーション コロナ後を見 情報通信網の

覧いただけます。(3月定例会初日に公開予定)

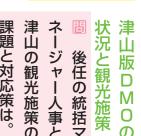


取り組みを考えて り箇所数を伸ばす 光消費額と立ち寄 各方面へ問い 人材確保 観

議員が市の行政全般について、市長など執行機関に方針や疑問点を質問

各議員のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問の

するものです。詳細は津山市議会ホームページの「会議録検索」などでもご



バリアフリー

化の

津山駅バリアフリ

JR津山駅舎

未来

政岡哲弘

新しくなった津山文化センター観客席



本年度から事





市政のあり方を問う

社会的・

取り組みを推進し

有能な人材を活用 を目指す。また、

DXに関する

題の解決につなげ

JR津山駅舎のバリアフリー化は

の跨線橋にエレベ業着手され、既存 今後の事業スケジ などの計画で本年 ュールは。 ターを設置する

どおり進められる てもスケジュー よう全力で取り組む。

度は調査設計が行 聞いており市とし 年度から2年間で われる。2021 工事を実施すると

からも重要と認識

クセス向上の観点 駅周辺施設へのア 館をはじめとする

している。引き続き

用促進、 性や公共交通の利 域の一体的なまち 津山まなびの鉄道 の整備は駅の利便 づくりはもとより 駅周辺地

できる通路などあ 要性と今後の検討は、 自由通路設置の必 ばと思うが南北 南北自由通路

駅南口に乗降